



こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2018 春号



地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

春爛漫ひらどつつじ

Contents

- ・平成30年度 長崎県島原病院新年度の取り組み
長崎県島原病院 院長 徳永 能治 2
- ・数字で見る島原病院 院内がん登録 3
- ・特集
院内を結ぶネットワーク 4・5
- ・連携医療機関のご紹介
石川内科医院 6
- ・ひだまりサロン紹介 6
- ・新任医師紹介 7
- ・栄養班
おうちで簡単！おいしい kitchen「グリーンピースのクリームスープ」 8

病院理念

患者さん本人の立場に立った医療

病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に病診連携、保健福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として活力ある病院づくりを進めます。



平成30年度 長崎県島原病院 新年度の取り組み

長崎県島原病院 院長 徳永 能治

当院は、昭和41年「長崎県立島原温泉病院」として開設いたしました。当院の病院理念は、「患者さん本人の立場に立った医療」であり、5つの病院指針を基本とし運営しています。これまで半島の地域中核病院として、質の高い急性期医療が継続的に提供でき、また地域の医療機関、介護施設等との相互連携を深めて地域健康の向上に貢献できるように職員一丸となって努力してまいりました。

本年度は、1. 島原半島内の島原市、南高医師会はじめとする関連諸機関との連携を推進し、2. 市民公開講座等による医療情報発信を増し、3. 本年3月の電子カルテ更新に伴い、院内各部門の情報連携を推進し患者さんにより良い医療が提供できる。またあじさいネットや島原メディカルケアネットによる診療データの地域内活用を推進し、地域内医療機関との相互情報提供の一助にしたい。またカルテ情報分析による安定的病院経営を行う、4. 職員の働き方改革を進め、働きやすい意欲のある職場づくりに取り組む、5. 職員の業務、教育、接遇改善活動をさらに推し進める等の目標に掲げました。中でも救急医療、がん医療などの医療は地域医療の中核をなすものであり、これまで以上の充実を図ってまいります。

島原病院は新年度も安心・安全な医療の提供に貢献し、地域の方々に信頼されるよう職員一同努力を続けてまいりますのでよろしくお願いいたします。

病院指針

- 1 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
- 2 診療にあたっては、インフォームド・コンセント（納得診療）を基本にして、患者中心の医療を展開します。
- 3 早期退院と医療の継続を目的に、病診連携・保健・福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
- 4 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
- 5 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として、活力ある病院づくりを進めます。

院内がん登録

院内がん登録室

<院内がん登録症例数推移>

当院は2007年4月症例より院内がん登録を開始しました。

院内がん登録症例数としては2008年より通年データとなります。

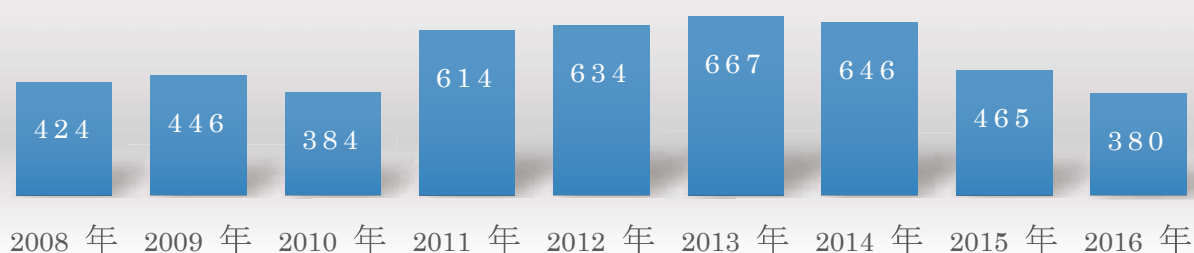
●ケースファインディング数

症例年	2011	2012	2013	2014	2015	2016
	H23	H24	H25	H26	H27	H28
抽出	1,767	3,159	6,020	8,996	5,765	8,797

●がん登録症例数

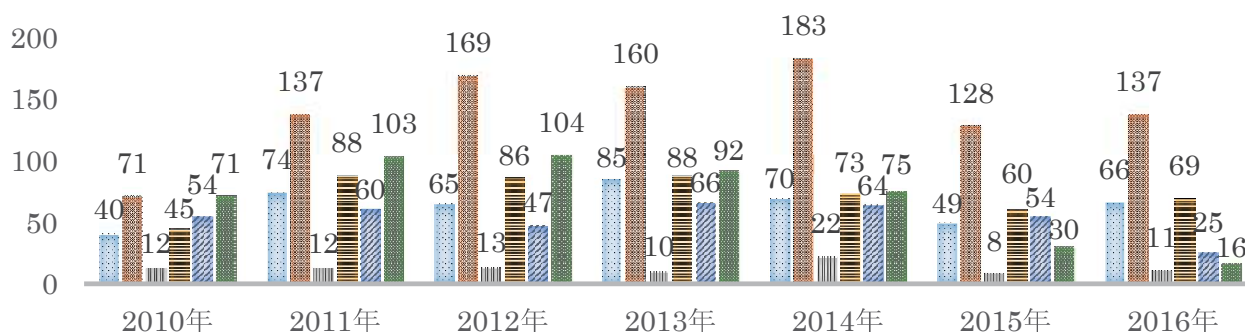
	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	前立腺がん	全体
2008年							424
2009年							446
2010年	40	71	12	45	54	71	384
2011年	74	137	12	88	60	103	614
2012年	65	169	13	86	47	104	634
2013年	85	160	10	88	66	92	667
2014年	70	183	22	73	64	75	646
2015年	49	128	8	60	54	30	465
2016年	66	137	11	69	25	16	380

院内がん登録全症例数



院内がん登録5大癌+前立腺癌症例数

■胃がん ■大腸がん ■肝がん ■肺がん ■乳がん ■前立腺がん



院内を結ぶネットワーク

ドクターの便利、患者さんの利益、新電子カルテで最大活用

病理診断科 林 徳眞吉
(株) ソフトエージェンシー 谷口 昌己

病院内には隅々まで電子カルテを運用するためのネットワーク配線が張り巡らされ、診療に用いる多くのパソコンは、相互に繋がっています。

これまで、カルテ運用の他にはあまり活用されていませんでした。

大学時代、システムやネットワーク管理に詳しい私は赴任当初よりネットワークや電子カルテの管理と支援を受け持つ(株)ソフトエージェンシーと二人三脚で、ネットワーク最大活用の工夫をしています。

効果を上げている一つは皆がファイルを入れたり出したり出来る共有フォルダをボランティア設置したことです。

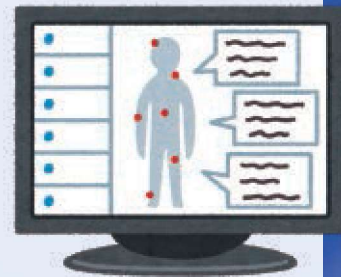
外科では、手術して切り取った臓器を、手術記録のために写真撮影しています。顕微鏡で検査をする病理診断科で、更に包丁で切り分け、腫瘍の形や広がり、病理で調べた部位を示す記録写真を撮影します。これらの臓器写真が、共有フォルダで院内どこからでも見られるようにしたことで、術後に患者・家族に説得力のある説明が出来、症例検討にもちいて手術技量を高めるために役立てられています。

医療会計を行う事務担当者は、一般診療の項目は勉強して詳しいですが、検査・病理の細かい分類や説明が必要な検査項目について馴染みが薄く、適切に会計できません。昔は、紙に書いて送っていましたが、時間がかかるし紙は送る方も受ける方も取扱いが面倒です。今は事務と共有するフォルダを作り、検査も病理も自分のデスクから診療内容の詳細を記述したファイルを保存し、事務担当も自分のデスクでファイルを開き、請求内容を参照して正しい会計を行っています。

また、手術室と病理診断科の間も繋がっていることを利用して、手術中に手術方針を決める術中病理診断を行う際に、病理室の顕微鏡カメラの映像を手術室の大型テレビモニターに映しながら病変の病理解説を行うことで、外科医が納得できて高レベルのギリギリの手術が出来る支援も出来るようになりました。

さて、平成 30 年 3 月から、新しい電子カルテを導入いたしました。

導入に当たっては、カルテの単体ではなく、手術中の記録を行うシステム、内視鏡やレントゲン検査、血液検査、病理検査など、いわゆる部門システムと電子カルテが連携して、情報を正しく自動的にカルテへ集約し、ドクターがカルテを見るだけで患者さんの状態を一目でわかるように出来るのが理想です。



そのためには、各部門のシステムとカルテの間を取り持つ調整役の活躍が物を言います。

前回の電子カルテを導入したときの反省を元に、今回はソフトウェアエンジニアが核となって、電子カルテと各部門のコンピューターシステムが協調して動作するように、ドクターの利便性を最大とするために大活躍をしてくれました。

****から電子カルテに xxx 出来ます。

内視鏡を行って内視鏡管理システムで写真を撮ったり病理の依頼をかいたら、電子カルテを開いて書き直さなくても、そのまま情報が入り込んで処理が済みます。

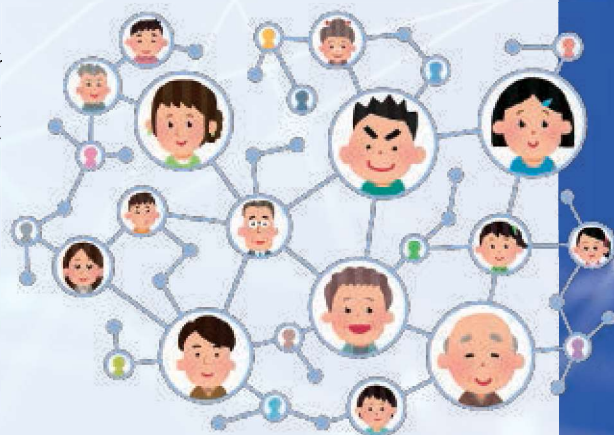
@@@@@を使えば患者さんの状態が、今までの変化とともに****出来ます。

この様に、どこの病院でも同じに張り巡らされているネットワーク網を、使う側の創意工夫と強い指導力で、患者さんに最大限の利益を生むためにドクターを便利にして、診療に集中して貰える環境を構築しつつあります。

電子カルテ以外にも、グループごとの連絡網に使えるメーリングリストを自前で構築し、災害時の職員間連絡用や、災害支援 DMAT でも携帯電話で相互に連絡が取れる連絡網の下地を作りました。他院では外部の会社に毎月何万円もかけて依頼していることです。

また、病院職員だけではなく、患者さんや付き添い・見舞いの方々にも便利を味わって貰うため、病院中で Wi-Fi を使えるネットワーク網を整備しました。

これからも島原病院の IT 部門は進化を続けます。



連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！
いつもご協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

医療法人薫風会 石川内科医院

院長 石川 和仁先生

南島原市西有家町里坊25-1 ☎0957-82-8822

医療と福祉の融合を目指して

当院は平成5年8月に現地で開業しました。

一般的な内科診療を行っていますが、大学で神経内科を専攻し、また所属していた医局の主たる研究テーマが腎臓と抗生物質でしたので、その方面でもトレーニングを受けた経験を通じた診療も行っています。

当院は、医療と福祉の融合を目指していて、関連施設として老人保健施設『夢織りの里』、地域密着型特別養護老人ホーム『夢の里』、認知症対応型グループホーム『陽だまりの家』が西有家町内にあります。また、平成30年8月より診療所の2階で、デイサービスを開始する予定で、少しでも地域の方々の健康増進の一助になればと考えます。

その中で昼夜を問わず、救急患者の受け入れや、当方の専門外の外来診療を引き受けて頂く島原病院の皆様には一方ならずお世話になっており、大変感謝しています。

当院は地域と密着した施設をモットーに患者さんの為に、スタッフ一同精一杯頑張っていく所存ですのでどうか宜しくお願いします。



ひだまりサロン

心配ごとや不安な気持ちをひとりで抱えずに、
お話しに来られませんか？

どうぞ気軽にお立ち寄りください

開催日時 第3火曜日 14:00～16:00
(祝祭日・年末年始を除く)

場 所 長崎県島原病院 MRI棟 2階会議室

対 象 がん患者さんとそのご家族
(当院にかかっていない方の参加も可能です)

お問い合わせ先 長崎県島原病院 医療相談室
(一階 受付・会計の右横)
電話 0957-63-1145





グリーンピースのクリームスープ

グリーンピースの旬は春～初夏！！旬のグリーンピースは甘みが強く、風味がよく美味しいですよ。
今回はグリーンピースをたくさん食べることができるレシピを紹介します(*^_^*)



健康のPoint!

グリーンピースは糖代謝をサポートするビタミンB1を豊富に含みます。ビタミンB1は糖質から効率よくエネルギーを作り出すことで疲労をため込まない効果があります。また、免疫力を高めたりストレスを緩和させるビタミンCもバランスよく含みますので、季節の変わり目で体を崩しやすい今の季節にもピッタリです。牛乳が入っているので食欲がないときの栄養補給にも！

それに加え、グリーンピースは食物繊維も豊富に含まれるのも特徴で、お通じ対策にもいいですよ(*^_^*)

【材料(2人分)】

グリーンピース	150g	水	400ml
たまねぎ	150g	コンソメ	小さじ2杯
ベーコン	1枚	牛乳	400ml
バター	30g	塩・こしょう	少々
小麦粉	大さじ3杯	生クリーム	50ml

【栄養素】

エネルギー	: 210kcal
たんぱく質	: 7g
食物繊維	: 2.5g
食塩量	: 0.8g

※上記塩分量は塩漬け梅干しを使用した場合の塩分量です。

【Point】

Point ①

きれいな色を出すためには、焦げ目がつかないように炒めるのがポイント。

Point ②

グリーンピースはさやから出すと風味が落ちていくので、使用する直前に出しましょう。

Point ③

グリーンピースはゆでた後冷凍すると長く持たせることができます。

Point ④

脂質、カロリーが気になる方は生クリーム抜きでも作ることができます。

【作り方】

- ① グリーンピースを柔らかくゆで、水に取る。玉ねぎは薄切りベーコンは1cm幅に切る。
- ② 鍋にバターを溶かして、玉ねぎ、ベーコンを加え、弱火で色のつかないように2～3分炒め、小麦粉を加えてさらに炒める。
- ③ ②に水とコンソメを加えて15分くらい煮込み、次に牛乳を加えて、弱火で10分くらい煮る。
- ④ ①と③をミキサーにかけ、こし、味を整えて仕上げに生クリームを加え、クルトンを添える。



外来受診時間

午前8:45～午前11:00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。
平成26年4月7日より小児科再開しております。
※詳しくはホームページをご覧ください。

休診日

土・日・祝日

年末年始(12月29～1月3日)